

# 平成27年度 事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

## 目 次

総括	1
実施事業の概要	1
事業の実施状況	
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	3
(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進	3
① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進	3
ア. 赤い羽根共同募金運動	3
イ. 歳末たすけあい募金運動	3
② やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実	3
ア. 自主事業「『やさしさとは?』～伝えるやさしさ、感じるやさしさ～」の開催	3
イ. 心のバリアフリーハンドブックの配付	4
③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実	4
(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進	4
① ボランティア養成の推進	4
ア. エコキャップ収集ボランティア活動の支援	4
イ. ボランティア体験プログラムの実施	4
ウ. 各種ボランティア養成講座の実施	5
② 福祉共育講座の充実	5
ア. 出前福祉共育講座の実施	5
イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの推進	6
2. 安心して暮らせる仕組みづくり	7
(1) 社会参画の促進	7
① 老人クラブ支援の充実	7
② 地区福祉まつり支援の充実	7
③ 男性高齢者調理講習会事業の充実	7
(2) 情報提供体制の充実	8
① 総合相談センター機能の強化	8
② 地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実	8
ア. 広報紙の発行	8
イ. ホームページの充実	8
ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実	9
(3) 組織体制の強化	9
① 会務の運営	9
② 苦情解決体制	11
(4) さまざまなニーズに応じたサービスの提供	11
① 法人後見事業の実施	11
② 介護保険事業等の充実	11
ア. 訪問介護事業の運営	11
イ. 通所介護事業の運営	12
ウ. 居宅介護支援事業の運営	12
エ. 障がい福祉サービスの運営	13

③ 指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営	13
④ 福祉車両貸出サービス事業の推進	13
⑤ 車いす等貸出サービス事業の推進	13
⑥ 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	14
⑦ ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進	14
⑧ 福祉機器・介護用品展示室の開設	14
⑨ 社会福祉資金貸付事業	14
⑩ 各種事業に対する共催・後援	14
<b>3. 地域で支えあうまちづくり</b>	<b>16</b>
(1) 共に支えあう地域づくり	16
① コミュニティワークの推進	16
② 地区社会福祉協議会支援の充実	16
ア. 地区社協会長研修会の開催	16
③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進	16
④ ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催	16
⑤ 安心・安全情報キット配付事業の推進	17
⑥ 自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・ 地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進	17
⑦ 各種行事助成・各種団体に対する補助	17
ア. 第9回宇都宮市民福祉の祭典	17
⑧ ボランティアセンター機能の充実	17
ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実	17
イ. ボランティア団体への活動支援の推進	18
⑨ 災害ボランティア活動等の実施	19
ア. 関東・東北豪雨水害の対応	19
イ. 東日本大震災被災者支援	19
ウ. 宇都宮市総合防災訓練	20
⑩ ファミリーケアサービス事業の充実	20
⑪ ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進	20
(2) 市民の主体的な地域活動への支援	20
① 小地域福祉活動計画策定の促進	20
② 福祉協力員制度の推進	21
③ 社会福祉協議会会員制度の充実	23
④ ぎんなん基金事業の充実	24
⑤ 善意銀行事業の促進	24
ア. 金銭・物品の預託・払い出しの実施	24
⑥ 敬老会開催の支援	24
<b>4. 指定管理施設等の管理・経営</b>	<b>25</b>
(1) 指定管理施設の管理・経営	25
① 老人福祉センターの管理・経営（5施設）	25
ア. ことぶき会館	25
イ. ふれあい荘	26
ウ. やすらぎ荘	26

エ. すこやか荘	27
オ. 上河内老人福祉センター	28
② 地域活動支援センターの管理・経営（3施設）	28
ア. 雀の宮作業所	28
イ. 若草作業所	28
ウ. 障がい者福祉センター	29
③ 総合福祉センターの管理・経営（2施設）	30
ア. 宇都宮市総合福祉センター	30
イ. 河内総合福祉センター	30
(2) 市からの受託事業等の実施	31
① 障がい者生活支援センター事業の実施	31
② 地域包括支援センター事業の実施	31
ア. 地域包括支援センター御本丸	31
イ. 上河内地域包括支援センター	32
③ 日中一時支援事業の実施	32
・ あっとほーむ・うだい	32
・ あっとほーむ・すずめ	32
・ あっとほーむ・かわち	32
・ 河内地域活動支援事業所	32
④ 障がい者福祉バス事業の実施	33
⑤ 各種奉仕員養成講座の実施	33
⑥ 要約筆記者派遣事業の実施	34
⑦ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施	34
⑧ 生活困窮者自立相談支援事業の実施	34
⑨ 援護事業の実施	34
(3) 県社協からの受託事業等の実施	35
① 権利擁護センター「あすてらす」事業の実施	35
② 生活福祉資金等貸付事業の実施	35
③ コミュニティワーク推進モデル事業の実施	35

## 総 括

今日、我が国では超高齢社会を迎え、2025年には団塊の世代が75歳以上となり、高齢化はさらに急速に進展することが予想されています。高齢化の急速な進展に伴いひとり暮らし高齢者や認知症患者の増加のほか、地域社会では、少子化や経済的困窮、無縁状態による孤立化、障がい者差別など、多種多様な生活・福祉課題が顕在化さらには潜在化しています。

こうした中、本会では、住民参加を基本とした地域福祉の推進を図る中核的団体として、「第3次地域福祉活動計画」に基づき、行政や関係機関・団体等との協働により、地域福祉事業や在宅福祉事業を推進してまいりました。

平成27年度は、地区社会福祉協議会や自治会との連携を更に密にし、ふれあい・いきいきサロンの拡充や、モデル地区を対象とした小地域福祉活動計画の策定に着手するなど、地域包括ケアシステムの一翼となる住民主体による地域福祉活動の充実・強化に努めました。

また、平成27年9月に発生した「関東・東北豪雨水害」では、宇都宮市内で被害に遭われた住民への災害ボランティアによる復旧支援活動のほか、市外の被災地にも職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営を支援するなど、多岐にわたる活動を展開してまいりました。

## 実施事業の概要

### 1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

#### (1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

地域社会の中で、誰もが手助け・見守り・声かけなどを自然に行えるよう様々な啓発活動や交流活動を促進し、相互の理解を深めながら福祉のまちづくりの推進に取り組みました。

#### (2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

誰もがやさしさや思いやり、お互いを尊重する気持ちをはぐくめるよう、出前福祉共育講座やボランティア養成講座などを開催し、福祉に関する人材の育成と福祉共育の推進に取り組みました。

## 2. 安心して暮らせる仕組みづくり

### (1) 社会参画の促進

誰もが心豊かに生きがいをもって自立した生活が送れるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を行い、社会参画の機会の確保に取り組みました。

### (2) 情報提供体制の充実

多様な福祉サービスの中から、適切なサービスが受けられるよう、福祉に関する情報発信や相談機能を強化し、情報提供体制の充実に取り組みました。

### (3) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

住み慣れた地域や家庭で自立した心豊かな生活が送れるよう、様々なニーズに応じた福祉サービスの提供の充実に取り組みました。

また、介護保険法に基づき、介護保険事業者として、要介護者等の心身の状況にふさわしい介護サービスを提供するとともに、サービスの質の向上や改善を行い、適切な事業運営に努めました。

## 3. 地域で支えあうまちづくり

### (1) 共に支えあう地域づくり

地域における生活課題に柔軟に対応できるよう、多様なネットワーク機能を充実させ、地域住民が共に支えあう地域づくりの推進に取り組みました。

### (2) 市民の主体的な地域活動への支援

誰もが地域福祉の担い手として、地域福祉活動を継続的に行えるよう、地域住民の自発的な活動への支援を充実させ、地域が一体となった地域福祉活動の推進に取り組みました。

## 4. 指定管理施設等の管理・経営

施設の設置目的や特性、業務内容、運営実態等を踏まえ、住民福祉の増進に努めるとともに、より効果的かつ効率的に施設の機能を発揮できる管理・経営に努めました。

また、宇都宮市及び栃木県社会福祉協議会からの受託事業について、事業の目的及び趣旨に基づき適正に実施しました。

## 事業の実施状況

### 1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

#### (1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

##### ①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動を、多くの市民の参画により実施し、地域福祉事業や福祉施設へ配分金を交付し、市民協働の支えあい助けあい活動を推進した。

##### ア. 赤い羽根共同募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

・戸別募金	30,290,898円	(134,085戸)
・街頭募金	349,302円	(11団体)
・法人募金	2,190,750円	(209事業所)
・学校募金	2,053,271円	(165校)
・職域募金	614,577円	(164箇所)
・その他の募金	510,255円	(60件)

##### イ. 歳末たすけあい募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

・戸別募金	20,150,315円	(134,085戸)
・篤志募金	68,266円	(2件)

##### ○配分事業

・施設配分	交付額	6,280,186円	(129施設)
・団体配分	交付額	720,000円	(11団体)
・地域配分	交付額	6,992,275円	(39地区)
・地域福祉活動事業配分	交付額	8,866,670円	(39地区)

##### ②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

##### ア. 自主事業『「やさしさ」とは？～伝えるやさしさ、感じるやさしさ～』の開催

推進協議会の設置目的である「やさしさ」を多くの市民に伝え、広げていくために、来場者（市民）に改めて「やさしさ」について考え、「やさしさ」につながる行動の実践を促す機会を提供する一般来場者の参加型イベントを福祉の祭典に合わせて行った。

・主 催	宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会
・開 催 日	平成27年11月23日（月・祝）勤労感謝の日
・会 場	オリオンスクエア（特設テント・ステージ）
・内 容	①「やさしさ」を伝える発表会 ②「心のバリアフリー」体験コーナー（手話・点字の体験） ③やさしさをはぐくむふくしのまちづくり活動PR（活動報告・啓発ポスターの掲示）
・協力団体	宇都宮市自治会連合会・宇都宮市女性団体連絡協議会・宇都宮市民生委員児童委員協議会・宇都宮精神保健福祉会・宇都宮農業協同組合
・発表会協力	NPO 法人障がい者福祉推進ネットちえのわ
・体験協力	宇都宮市視覚障害者福祉協会・宇都宮市聴覚障害者協会・宇都宮手話通訳者連絡会
・参加人数	①「やさしさ」を伝える発表会 120人 ②体験活動 34人（手話17人、点字17人）

## イ. 心のバリアフリーハンドブックの配付

心のバリアフリーハンドブックを増刷し、関係団体へ配付した。

・配付部数 3, 238部

### ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

#### 第9回宇都宮市民福祉の祭典（宇都宮市民福祉の祭典実行委員会）

- ・主 催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会（宇都宮市社会福祉協議会・宇都宮ボランティア協会・宇都宮市等 計10団体）
- ・開 催 日 平成27年11月23日（月・祝）勤労感謝の日
- ・会 場 総合福祉センター・中央生涯学習センター・まちかど広場  
オリオンスクエア・宇都宮市役所14階大会議室
- ・参加協力団体 80団体（前年比 -6団体）
- ・ボランティア 97人（前年比 +24人）
- ・一般来場者 約8,000人（前年比 -2,000人）
- ・内 容 表彰、福祉バザー、模擬店、障がい者の作品展示コーナー、福祉書道展・絵画展、ボランティア相談コーナー、アトラクション、介護相談、スタンプラリー、福祉クイズ、手話・点字の体験  
チャリティマッサージ・メイク、補助犬・車いす等体験

※バザー、模擬店などで得た収益金及び各参加団体等からの協力金227,526円を「ぎんなん基金」にご寄附いただいた。

## （2）福祉に関する人材の育成と共育の推進

### ①ボランティア養成の推進

#### ア. エコキャップ収集ボランティア活動の支援

ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に、エコキャップ収集活動を支援した。

## イ. ボランティア体験プログラムの実施

収集したエコキャップの整理を通し、ボランティア体験プログラムを実施した。

- ・期 日 平成27年6月20日（土）、7月29日（水）、8月5日（水）  
9月10日（木）、9月18日（金）、10月8日（木）  
10月20日（火）、11月6日（金）、11月17日（火）  
12月3日（木）、12月8日（火）、12月9日（水）  
12月24日（木）  
平成28年3月3日（木）、3月4日（金）、3月10日（木）  
3月11日（金）3月22日（火）、3月23日（水）  
計19回（前年比 +7回）
- ・内 容 エコキャップ整理活動を通し、ボランティア同士の交流を図った。
- ・参加者 延107人（前年比 +29人）
- ・個 数 11,335,230個（前年比-5,602,470個）
- ・キロ数 26,361kg（前年比 -13,029kg）



## ウ. 各種ボランティア養成講座の実施

講座名	内 容	開催日	開催回数	受講人数(延)	前年比
災害福祉救援ボランティア養成講座	災害時におけるボランティア養成講座	平成 27 年 6/6、6/13、6/20 6/27、7/4	全 5 回	62 人	-29 人
月 1 ぼらんていあ Saturday	ボランティア活動への興味・きっかけづくりのための入門講座	平成 27 年 7/25、8/1、9/5 平成 28 年 3/5	全 4 回	74 人	+6 名
サマーボランティアスクール	高校生・大学生等を対象にしたボランティア活動のきっかけづくりの入門講座	平成 27 年 8/17、8/18	全 2 回	19 人	-55 人
災害ボランティアフォローアップ講座	災害ボランティア登録者を対象に行うフォローアップ講座	平成 27 年 8/22	全 1 回	25 人	-10 人
傾聴ボランティア養成講座	高齢者に対しての傾聴ボランティア養成講座	平成 27 年 9/1、9/8、9/15 9/29	全 4 回	70 人	-9 人
サンタクロースアカデミー in うつのみや	気軽に楽しみながら参加できるサンタクロースボランティアを養成	平成 27 年 12/6	全 1 回	45 人	-16 人

## ②福祉共育講座の充実

### ア. 出前福祉共育講座の実施

- ・実施回数 延 1 2 7 回 (前年比 -19 回)  
(手話体験 3 5 回、アイマスク体験 2 6 回、点字体験 3 3 回、盲導犬育成講話 6 回、車いす体験 2 3 回、ボランティア講話 4 回)
- ・受講者 延 4, 1 4 7 人 (前年比 -448 人)

## イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催

福祉共育やボランティア活動の推進を図ることを目的に開催した。

○オモイツタエル3. 11～ともしびプロジェクト in うつのみや 2016～

- ・開催日時 平成28年3月11日（金）18：00～19：30
- ・主 催 宇都宮市社会福祉協議会、UP（宇大生プロジェクト）  
宇都宮大学学生有志、栃木避難者母の会、宇都宮大学学生支援課  
宇都宮大学学生ボランティア支援室、宇都宮大学地域連携教育研究センター  
認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク  
NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク  
NPO法人宇都宮まちづくり市民工房、とちぎ協働デザインリーグ  
とちぎ暮らし応援会、福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト
- ・開催場所 宇都宮市オリオン市民広場（オリオンスクエア）
- ・テーマ 3. 11を「忘れない」「ふりかえる」「伝え続ける」

## 2. 安心して暮らせる仕組みづくり

### (1) 社会参画の促進

#### ①老人クラブ支援の充実

各地域において介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブ及び地区連絡協議会を支援するとともに、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業の支援を行った。

また、連合会創立50周年にあたったことから、記念事業にも取り組んだ。

○クラブ数 324クラブ

○会員数 18,739人

○主な事業

・老人クラブ社会奉仕の日(年3回) 延11,500人

・市老人クラブ連合会創立50周年記念式典 約1,000人

・開催日 平成27年10月27日(火)

・会場 宇都宮市文化会館 大ホール

・内容 ①アトラクション(大正琴、コーラス)

②記念式典

③記念講演「人生は8合目からがおもしろい」

講師 田部井 淳子 氏

・市老人クラブ連合会創立50周年記念誌発行 500冊

・市老人クラブ軽スポーツ大会(グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げ) 約970人

#### ②地区福祉まつり支援の充実

地区社会福祉協議会が、地域の関係機関等と協働して開催した地区福祉まつりの開催費用の一部を助成した。(助成総額 155,598円)

・宮の原地区

・戸祭地区

・城山地区

・清原地区

#### ③男性高齢者調理講習会事業の充実

おおむね65歳以上の男性を対象に、自立した心豊かな生活がおくれるよう調理法を学ぶとともに、同世代の方々の仲間づくりや交流を図るために、地区社会福祉協議会が開催した調理講習会の開催費用の一部を助成した。

(助成総額 353,221円)

・東地区 4回開催 参加者 延 24人

・西地区 2回開催 参加者 延 21人

・昭和地区 33回開催 参加者 延262人

・城山地区 2回開催 参加者 延 39人

・宮の原地区 6回開催 参加者 延 59人

・瑞穂野地区 5回開催 参加者 延 76人

・国本地区 1回開催 参加者 16人

・明保地区 6回開催 参加者 延119人

・篠井地区 1回開催 参加者 9人

・河内地区 2回開催 参加者 延 30人

合計 62回開催 延655人 (前年比 +164人)

## (2) 情報提供体制の充実

### ①総合相談センター機能の強化

地域住民が抱える生活・福祉問題等のさまざまな心配ごと、悩みごとの相談に応じられるよう「総合相談センター」を開設した。(総事業費 4,018,133 円)

#### ○相談内容

種 別	件 数	種 別	件 数
生計問題	34件	財産問題	54件
年金問題	12件	交通事故問題	5件
職業・生業問題	20件	児童福祉・母子保健問題	1件
住宅問題	24件	教育・青少年問題	3件
家族問題	113件	心身障がい者福祉問題	6件
結婚問題	2件	ひとり親福祉問題	1件
離婚問題	20件	高齢者福祉問題	21件
健康・衛生問題	10件	苦情問題	37件
医療問題	14件	その他	168件
精神衛生問題	52件	合 計	601件
人権・法律問題	4件		(前年比 -98件)

※ 開設回数 延 361回 (うち 特別相談日 47回、巡回相談日 69回)

- ・生活福祉相談 月～金曜日
- ・巡回相談 毎月各1回  
第1木曜日：ことぶき会館、第2木曜日：ふれあい荘  
第3木曜日：やすらぎ荘、第4木曜日：すこやか荘  
第1火曜日：河内総合福祉センター  
第2火曜日：上河内老人福祉センター
- ・特別相談 毎月各1回  
第3火曜日：法律相談、第3水曜日：心身障がい者相談  
第3木曜日：更生相談、第3金曜日：精神保健福祉相談

### ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

#### ア. 広報紙の発行

定期的に福祉情報等の提供を行い、市民に社会福祉協議会の活動内容の理解を深めてもらうために、広報紙「うつのみや社協だより」を発行した。

- ・第156号 平成27年 4月20日発行 22,000部
- ・第157号 平成27年 7月 1日発行 21,000部
- ・第158号 平成27年10月 1日発行 21,000部
- ・第159号 平成28年 2月 1日発行 21,000部

#### イ. ホームページの充実

福祉に関する情報、社協の概要など、より見やすく使いやすく提供できるように努めた。

## ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

老人福祉センター（5施設）、地域活動支援センター（3施設）、総合福祉センター（2施設）を地域の福祉拠点として、福祉情報の提供及び地域福祉事業等の推進を図った。

- ・総合相談センター巡回相談の開設
- ・各種地域福祉講座・講習会等の福祉情報の提供
- ・車いす等の福祉機器の貸出

## （3）組織体制の強化

### ①会務の運営

#### 【理事会の開催】

○平成27年5月20日（水）

（議 事）

- ・評議員の委嘱について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○平成27年10月29日（木）

（議 事）

- ・評議員の委嘱について
- ・宇都宮市社会福祉協議会特定個人情報等取扱規程の制定について
- ・宇都宮市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・平成27年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について

○平成27年11月9日（月）

（議 事）

- ・副会長の選任について

○平成28年3月18日（金）

（議 事）

- ・平成27年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について
- ・平成28年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成28年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

#### 【監事会の開催】

○平成27年5月13日（水）

（監 査）

- ・平成26年度 事業執行及び会計処理について

### 【評議員会の開催】

○平成27年5月28日（木）

（議 事）

- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○平成27年11月9日（月）

（議 事）

- ・理事の選任について
- ・宇都宮市社会福祉協議会特定個人情報等取扱規程の制定について
- ・宇都宮市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・平成27年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について

○平成28年3月25日（金）

（議 事）

- ・監事の選任について
- ・平成27年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について
- ・平成28年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成28年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

### 【ぎんなん基金運営委員会の開催】

○平成28年3月4日（金）

（報告事項）

- ・平成27年度ぎんなん基金の状況について
- ・平成27年度ぎんなん基金の課題について

（協議事項）

- ・平成28年度ぎんなん基金の取り組みについて

### 【事業経営委員会の開催】

○平成28年3月4日（金）

（報告事項）

- ・平成27年度指定管理施設及び介護保険事業等の経営状況について

（協議事項）

- ・指定管理施設及び介護保険事業等の平成28年度の取り組みについて

### 【地域福祉事業運営委員会の開催】

○平成28年3月7日（月）

（報告事項）

- ・第3次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
- ・平成27年度主要な地域福祉・ボランティア事業報告について

（協議事項）

- ・平成28年度地域福祉・ボランティア事業の主要な取り組みについて

**【歳末たすけあい事業配分委員会の開催】**

○平成27年9月2日（水）

（報告事項）

- ・平成26年度歳末たすけあい運動実績について
- ・平成26年度歳末たすけあい運動地区別実績について

（協議事項）

- ・平成27年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項について
- ・歳末たすけあい運動の継続検討課題について

**②苦情解決体制**

福祉サービス等についての苦情に対し、各部署・施設等に苦情受付窓口を設けるとともに、第三者委員を設置し、社会性や客観性の確保を図りながら、円滑で円満に問題を解決するための体制を整え適切に対応した。

**【第三者委員会の開催】**

○平成27年7月17日（金）

（報告事項）

- ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決システムの概要について
- ・平成26年度苦情の状況について

苦情件数 21件 (前年比 +5件)

**(4) 様々なニーズに応じたサービスの提供**

**①法人後見事業の実施**

認知症や知的障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を尊重するため、法人後見事業を行った。

- ・法人後見運営委員会 3回 (前年比 -1回)
- ・法人後見受任 10件 (後見類型9件、補助類型1件) (前年比 ±0件)
- ・相談件数 99件 (前年比 +50件)

**②介護保険事業等の充実**

**ア. 訪問介護事業の運営** (総事業費 41,319,531円)

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延回数) (単位:回)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	1,586	2,734	1,761	1,297	109	7,487

(前年比 +1,373人)

・サービス種別内訳 (延回数) (単位:回)

区分	生活援助	身体・生活	身体介護	合計
計	3,499	1,954	2,034	7,487

(前年比 +1,373回)

### ○介護予防訪問介護事業

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延回数）（単位：回）

区 分	要支援 1	要支援 2	合 計
計	713	1,712	2,425

（前年比 -279回）

※参考

・平成 26 年度介護度別利用者内訳（延回数）（単位：回）

区 分	要支援 1	要支援 2	合 計
計	685	2,019	2,704

### イ. 通所介護事業の運営 【河内事業所で実施】（総事業費 23,521,614 円）

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
計	328	565	131	245	190	1,459

（前年比 -206人）

### ○介護予防通所介護事業【河内事業所で実施】

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	合 計
計	8	442	450

（前年比 +4人）

### ウ. 居宅介護支援事業の運営（総事業費 12,048,424 円）

要介護者が、居宅において自立した生活を営むために必要な居宅サービス等を適切に受けられるよう、居宅サービス計画や相談援助を実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
計	95	187	323	423	175	118	26	1,347

（前年比 -5人）



## エ. 障がい福祉サービスの運営

(総事業費 8,442,306 円)

居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、障がい福祉サービス（居宅介護・生活介護）を実施した。

・居宅介護（ホームヘルプサービス）利用者延人数等

区 分	利用者延数人	利用者延回数
計	189 人	1,724 回

(前年比 -199 人)

・生活介護（デイサービス）利用者延人数等

区 分	利用者延人数	利用者延回数
計	299 人	299 回

(前年比 +23 人)

### ③指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営

障がい児・者の「サービス等利用計画・障害児利用支援計画」について計画作成およびモニタリングや相談支援を実施した。

・利用者内訳（延人数） (単位：件)

区 分	計画作成	モニタリング
指定特定相談支援	127	112
指定障害児相談支援	5	2
計	132	114

(前年比 計画作成+40 件、モニタリング+63 件)

### ④福祉車両貸出サービス事業の推進

身体機能の低下や障がいなどにより公共交通機関の利用が困難な方に、通院や各種行事等への参加のために、車いすのまま乗降できる福祉車両を貸し出した。

・貸出件数 延 6 7 件（稼働日 8 1 日） (前年比 +11 件)

### ⑤車いす等貸出サービス事業の推進

一時的に車いす等が必要となった方などへ、市内 1 1 か所において原則 3 ヶ月を限度に貸し出した。

・貸出件数 延 4 1 7 件（車いす、歩行器等） (前年比 +69 件)

### ⑥福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

理美容店に出向くことが困難な65歳以上の在宅の寝たきり高齢者に対して、散髪を行った際の出張費の補助を行った。

(総事業費 322,750 円)

- ・申請者 97人
- ・利用件数 (補助券) 212枚 (前年比 -57枚)

### ⑦ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

おおむね70歳以上の近隣に近親者のいないひとり暮らし高齢者の家庭に乳酸飲料を配達し、手渡しすることにより、安否の確認と孤独感の解消を図った。

(総事業費 3,703,739 円)

- ・利用者 延 4,751人 (月平均 396人)
- ・配達本数 延 56,281本 (前年比 -2,328本)
- ・状況確認 59件 (配達時に不在のため詳細を確認)
- ・緊急対応 2件

### ⑧福祉機器・介護用品展示室の開設

寝たきり高齢者等の介護者に、介護を容易にするための福祉機器及び介護用品等の情報を提供するため、福祉機器・介護用品展示室を開設した。

- ・利用者数 延 96人 (前年比 -16人)

### ⑨社会福祉資金貸付事業

貸付の債権の管理を行った。

- ・完了件数 0件 (前年比 -1件)
- ・累積貸付件数 9件 (前年比 ±0件)

### ⑩各種事業に対する共催・後援

各団体等が開催する事業に対し、共催・後援を行った。

- ・共催 0件 (前年比 ±0件)
- ・後援 34件 (前年比 ±0件)
- ・共催・後援団体の一覧

No	事業内容	団体名	区分
1	木下大サーカス宇都宮公演	(株)下野新聞社	後援
2	認知症の人と家族の会第31回全国研究集会	障がい児者支援とちぎ	〃
3	第121回チャリティトチギアートオークション	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	〃
4	とちぎ共生フォーラム	第31回全国研究集会担当支部	〃
5	第34回栃木県障害者卓球選手権大会	栃木県障害者卓球連盟	〃
6	第122回チャリティトチギアートオークション	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	〃

7	チャリティウオーク 56.7	認定特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク	〃
8	第18回星の家まつり	認定特定非営利活動法人青少年の自立を支える会	〃
9	第6回フェアトレードまつり	まちなか・せかいネットーとちぎ海外協力NGOセンター	〃
10	第3回Tinyファミリーチャリティコンサート～障がいがあってもなくても子どもから大人までみんなが楽しむコンサート～	宇都宮共和大学	〃
11	第22回岡本台病院ふれあいまつり	栃木県立岡本台病院	〃
12	2015年夏季炊き出し	2015年夏季炊き出し実行委員会	〃
13	第123回チャリティトチギアートオークション	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	〃
14	平成27年度作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教育実践センター主催シンポジウム大橋グレース愛喜恵講演会	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部	〃
15	絵画展「口と足で表現する世界の美術家たち」	三菱電機ビルテクノサービス(株)栃木支店	〃
16	宇老連創立50周年記念「第8回宇都宮市老人クラブのつどい」	宇都宮市老人クラブ連合会	〃
17	第16回スミセイさわやか介護セミナー	(株)下野新聞社	〃
18	宇都宮市障害者福祉会連合会地域交流事業ノーマライゼーションフェスティバル7th「バリアフリーの社会をめざして」～障害者差別解消法の施行に向けて～	社会福祉法人宇都宮市障害者福祉会連合会	〃
19	被災地障がい者の「働く」を応援！とちぎ防災フォーラム2016	みらい・ともに・すすむ	〃
20	第124回チャリティトチギアートオークション	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	〃
21	島あしびフェスタ2016～栃木と沖縄に感謝を込めて～	栃木エイサーシンカ琉和	〃
22	第23回「歳末たすけあい民謡民舞大会」	宇都宮民謡民舞連合会	〃
23	子育てセミナー	特定非営利活動法人日本メンタルカウンセリング協会	〃
24	2015年冬季炊き出し	2015年冬季炊き出し実行委員会	〃
25	市民公開シンポジウム「分かり合えないことから～コミュニケーション能力とは何か」	栃木県司法書士会	〃
26	すぎの芽学園・デイセンターすぎの芽絵画展	すぎの芽学園・デイセンターすぎの芽	〃
27	第45回関東ろう者体育大会	第45回関東ろう者体育大会実行委員会	〃
28	2016年スペシャルオリックス日本・栃木第6回地区大会	特定非営利活動法人スペシャルオリックス日本・栃木	〃
29	第125回チャリティトチギアートオークション	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	〃
30	障害者差別解消法・条例施行記念パレード	栃木障がいフォーラム	〃
31	2016年第5回栃木県乗馬大会	特定非営利活動法人障害者のための馬事普及協会	〃
32	第126回チャリティトチギアートオークション	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	〃
33	第11回とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン2016	公益財団法人とちぎYMCA	〃

### 3. 地域で支えあうまちづくり

#### (1) 共に支えあう地域づくり

##### ①コミュニティワークの推進

コミュニティワーカー（地区担当スタッフ）を配置し、地域の生活・福祉課題の把握、またその課題の解決方法、さらに社会資源の点検や新たな社会資源の開発等を、関係機関・団体等と連携・協働で行える体制づくりに努めると共に、地域住民が主体的に地域福祉事業（活動）に参画できるよう、支援を強化した。

- ・コミュニティワーカー配置数：6名

##### ②地区社会福祉協議会支援の充実

###### ア. 地区社協会長研修会の開催

- ・期 日 平成27年11月25日（水）～26日（木）
- ・視 察 地 横浜市瀬谷区役所
- ・研修テーマ 「地域における高齢者等の見守り体制づくり」  
～横浜市瀬谷区細谷戸地区社会福祉協議会  
「細谷戸ビーハイブ実施委員会」の取り組み～

##### ③ふれあい・いきいきサロン事業の推進

ひとり暮らし高齢者などの居場所を確保し、地域ぐるみで見守り・支援を行う「ふれあい・いきいきサロン」の設置を促進した。

- ・36地区 174か所 (ふれあい・いきいきサロン助成金 3,974,000円)  
(サロン健康増進事業助成金 782,309円)

##### ④ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催

ふれあい・いきいきサロン連絡会の会員を対象に研修会を開催するとともに、サロン間の情報交換を行った。

###### 【共通テーマ】

- ・内 容 ・基調講話「地域コミュニティ形成・維持のあり方～近所づきあいが地域をつくる～」  
講師 うつのみや市政研究センター  
研究員 坂本文子 氏
- ・グループワーク「ふれあい・いきいきサロンの現状と課題」

###### ・西部ブロック研修会

- 開催日 平成27年10月21日（水）
- 参加者 28人

###### ・南部ブロック研修会

- 開催日 平成27年10月26日（月）
- 参加者 42人

・東部ブロック研修会

開催日 平成27年10月28日(水)

参加者 61人

・中央ブロック研修会

開催日 平成27年10月30日(金)

参加者 20人

・北部・上河内・河内ブロック研修会

開催日 平成27年11月4日(水)

参加者 101人

⑤安心・安全情報キット配付事業の推進

在宅の高齢者及び障がい者等に対し、緊急時における救急隊などの支援者への速やかな対応と、日常における地域での見守り活動を促進するため、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などを確認できる「安心・安全情報キット」を配付した。

・3地区 2,831本(累計37地区 延16,534本)

⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等  
関係機関等との連携・協働の推進

市社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会が取り組む福祉協力員活動やひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業などにおいて、自治会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携・協働を進めた。

⑦各種行事助成・各種団体に対する補助

ア. 第9回宇都宮市民福祉の祭典(宇都宮市民福祉の祭典実行委員会)

助成額 300,000円

⑧ボランティアセンター機能の充実

市民のボランティアに関する理解を深め、関心を高めるとともに、近隣の住民同士が助けあうことを基本としたボランティア活動の推進を図るため、ボランティアセンターの運営を行った。

(総事業費 11,300,252円)

ア. ボランティア相談・登録・調整の充実

ボランティアの発掘及び育成支援を目的に、ボランティア相談並びにマッチング(調整)に努めた。

・各種相談・問合せ 11,184件 (前年比 +864件)

・ボランティア活動調整件数 625件 (前年比 +31件)

・ボランティア登録数(団体) 301団体 10,087人 (前年比 +89団体 +2,154人)

(個人) 64人 (前年比 -47人)

## イ. ボランティア団体への活動支援の推進

### ○宇都宮ボランティア協会への助成

宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。

助成額：250,000円

### ○ボランティア活動用機材の貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、市内3か所の窓口において、活動に必要な機材の貸出しを行い、活動を支援した。

・貸出件数 延150件 (前年比 +15件)  
(パソコン、液晶プロジェクター、テレビデオ、スクリーン等)

### ○ボランティアルームの貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出しを行い、活動を支援した。

・貸出件数 延132団体 1,775人 (前年比 -72団体、+264名)

### ○ボランティアロッカーの貸出

登録しているボランティア団体を対象に、ロッカーの貸出しを行い、活動を支援した。

・貸出団体数 36団体 (前年比 ±0団体)

### ○ひとり暮らし高齢者友愛訪問の実施

・訪問者数 50人 (前年比 ±0人)  
・活動内容 話し相手、清掃など

### ○対面朗読サービスの実施

視覚障がいのある方等に対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面にて読み上げる朗読サービスを、音訳ボランティアの協力により実施した。

・実施回数 25回 (前年比 +9回)  
(利用者の希望により調整)  
・利用者数 延25人 (前年比 +8人)  
・協力ボランティア数 延49人 (前年比 +20人)

### ○出前福祉共育講座連絡会

出前福祉共育講座に協力いただいている講師等との交流会を開催し、講座プログラムの開発を検討した。

・開催日 平成28年2月12日(金)  
・参加者 12人(視覚障がい者・身体障がい者講師・アシスタント)(前年比 +1人)  
・内容 「出前福祉共育講座」プログラムについて検討

## ⑨災害ボランティア活動等の実施

### ア. 関東・東北豪雨水害の対応

#### ○市内の被災地での災害ボランティア活動

活動内容：市内で風水害により被災した家屋等での泥だし、清掃、片づけなど

支援対象：ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯

高齢者と障がいのある方のみの世帯

その他、特に支援が必要な世帯等

活動日：平成27年9月21日（月・祝）、9月28日（月）

活動人数：延29名

件数：7件（活動6件、調査のみ1件）

現地調査件数：7件（付近の住宅についても状況確認を行った。）

#### ○市外の被災地への職員派遣

県内で特に被害の大きかった被災地へ、栃木県社会福祉協議会との「栃木県市町社会福祉協議会における災害時支援に関する協定」に基づき職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行った。

派遣先：鹿沼市・栃木市・小山市

派遣日数：鹿沼市（12日間）・栃木市（3日間）・小山市（4日間）

派遣人数：延20名

### イ. 東日本大震災被災者支援

#### ○東日本大震災復興支援並びに被災者支援活動

東日本大震災復興支援活動をしている関係機関・団体とともに支援活動を行った。

- ・福祉共育・ボランティア推進フォーラムの推進（再掲）  
「オモイツタエル3. 11～ともしびプロジェクト in うつのみや 2016～」
- ・開催日時 平成28年3月11日（金）18:00～19:30
- ・主催 宇都宮市社会福祉協議会、UP（宇大生プロジェクト）  
宇都宮大学学生有志、栃木避難者母の会、宇都宮大学学生支援課  
宇都宮大学学生ボランティア支援室、宇都宮大学地域連携教育研究センター  
認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク  
NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク  
NPO法人都宮まちづくり市民工房、とちぎ協働デザインリーグ  
とちぎ暮らし応援会、福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト
- ・開催場所 宇都宮市オリオン市民広場（オリオンスクエア）
- ・テーマ 3. 11を「忘れない」「ふりかえる」「伝え続ける」

## ウ. 宇都宮市総合防災訓練

災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し設置運営訓練を行った。

- ・実施日 平成27年8月22日(土) 宇都宮市立西が岡小学校 25名  
(宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生、市社協各課の職員)

## ⑩ファミリーケアサービス事業の充実

日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者等の世帯(利用会員)に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供した。

(総事業費 3,591,681円)

- ・利用会員 72人 (前年比 -1人)
- ・協力会員 26人 (前年比 ±0人)
- ・利用件数 3,079件 (前年比 +163件)
- ・利用時間 4,323時間 (前年比 +33時間)
- ・サービス内容 掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添い等

## ⑪ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進

ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業を実施した地区社会福祉協議会に対し、事業費の一部を助成した。

ア. 39地区社協(全地区)へ助成 (助成総額 8,799,200円)

### イ. 食中毒・食品衛生講習会の開催

ふれあい会食事業に携わる地区の方々を対象に、食への安全・安心を図るため保健所による食中毒・食品衛生指導を受け、地区社協の事例をもとに会食事業を実施するうえでの工夫等を学んだ。

- ・開催日 平成27年6月18日(木)
- ・参加者 102人 (前年比 -25人)

## (2) 市民の主体的な地域活動への支援

### ①小地域福祉活動計画策定の促進

生活・福祉課題の解決を図ることや住民の地域福祉活動への積極的な参画の促進を目的に、モデル地区社会福祉協議会を2地区選定し、地域の関係機関・団体と連携しながら小地域福祉活動計画の策定に向けて、住民とともに「福祉のまちづくりマップ」を作成した。

- ・モデル地区 平石地区、河内地区



## ②福祉協力員制度の推進

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会の支援及び活動費の助成を行った。

(助成総額 4,214,000 円)

### ○地区別 福祉協力員数

地 区	協力員数	地 区	協力員数	地 区	協力員数
中 央	41人	清 原	94人	五代若松原	40人
東	59人	桜	54人	戸 祭	70人
西	47人	宝 木	72人	御 幸	37人
築 瀬	13人	富 士 見	68人	御幸ヶ原	44人
西 原	31人	明 保	33人	細 谷	69人
昭 和	52人	城 山	51人	篠 井	11人
錦	38人	姿 川	180人	富 屋	17人
城 東	38人	陽 南	50人	国 本	59人
今 泉	46人	緑 が 丘	67人	豊 郷	152人
泉 が 丘	51人	陽 光	50人	上 河 内	48人
峰	40人	宮 の 原	41人	河 内	161人
平 石	14人	横 川	115人	合計 2,384人 (前年比 +12人)	
石 井	159人	瑞 穂 野	38人		
陽 東	45人	雀 宮	89人		

### ○福祉協力員表彰式並びに委嘱状交付式の開催

長年に渡り活動を続けてこられた福祉協力員に対し、市社会福祉協議会会長より表彰を行い、その功績を称えた。併せて、市内39地区の福祉協力員を対象とした委嘱状交付式を開催した。

- ・開催日 平成27年5月22日(金)
- ・会 場 宇都宮市文化会館 大ホール
- ・内 容 表彰式、委嘱状交付式

記念講演「なじみある地域生活を続けていくために」

～昨今の認知症の人の介護から考える～

講師 NPO 法人「風の詩」/社会福祉士事務所「風のささやき」

代表 永島 徹 氏

## ○ブロック別福祉協力員研修会の開催

福祉協力員活動の推進と充実を図ることを目的に、ブロックごとに福祉協力員研修会を開催した。

### 【共通テーマ】

- ・内 容
  - ・講演「やさしいコミュニケーション（やさしい日本語）とは  
～地域における“暮らしにくさ”を考える～」  
講師 株式会社きぼう国際外語学院  
主任講師（地域日本語教育コーディネーター）  
栗又 由利子 氏
  - ・グループワーク  
各ブロック福祉協力員、地区社協役員、地域包括支援センター

### ・中央ブロック研修会

開催日 平成27年11月30日（月）  
参加者 72人

### ・北部・上河内・河内ブロック研修会

開催日 平成27年12月1日（火）  
参加者 147人

### ・南部ブロック研修会

開催日 平成27年12月3日（木）  
参加者 132人

### ・東部ブロック研修会

開催日 平成27年12月9日（水）  
参加者 160人

### ・西部ブロック研修会

開催日 平成27年12月10日（木）  
参加者 138人

### ③社会福祉協議会会員制度の充実

社協会員の拡大を図り、地域福祉事業を推進するための自主財源（会員会費）の確保に努めた。

地 区		合 計		地 区		合 計	
		会 員 数	会 費(円)			会 員 数	会 費(円)
中央ブロック	中 央	1,467	541,700	南部ブロック	陽 南	2,879	863,800
	東	1,621	486,590		緑が丘	2,532	776,150
	西	1,948	579,000		陽 光	1,067	320,300
	築 瀬	1,632	489,830		宮の原	1,696	509,000
	西 原	1,403	421,100		横 川	5,320	1,709,495
	昭 和	1,677	503,280		瑞穂野	2,182	654,600
	錦	1,460	443,000		雀 宮	9,338	2,085,900
東部ブロック	城 東	1,673	501,930	五代若松原	1,645	493,500	
	今 泉	1,130	339,000	北部ブロック	戸 祭	3,011	928,950
	泉が丘	2,069	623,700		御 幸	1,453	436,000
	峰	2,118	635,406		御幸ヶ原	2,149	646,385
	平 石	782	234,700		細 谷	3,482	1,054,651
	石 井	3,029	908,700		篠 井	627	191,400
	陽 東	1,876	562,935		富 屋	883	266,300
	清 原	6,185	2,248,200		国 本	3,384	1,020,800
桜	1,774	532,460	豊 郷		8,909	2,672,700	
西部ブロック	宝 木	3,598	1,086,910	上河内	2,246	673,800	
	富士見	3,251	992,400	河 内	7,313	2,193,900	
	明 保	1,344	403,322	賛助・特別・団体会費	421	3,194,000	
	城 山	3,295	988,500	合 計	109,220	35,819,694	
	姿 川	5,351	1,605,400				

※過去5年間における会費の状況は、次のとおりである。

年度 区分		平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
		合 計	会員数	109,220	108,113	110,749
会費(円)	35,819,694		36,127,074	36,587,635	37,289,661	37,462,438
会費前年度比 (%)		-0.9	-1.2	-1.9	-0.4	-0.9

#### ④ ぎんなん基金事業の充実

ぎんなん基金寄附金を受け入れて、基金の造成に努めた。

- ・ 寄附状況 126件（企業、団体、個人等） 3,583,542円  
(前年比 -10件、+75,978円)

#### ⑤ 善意銀行事業の促進

##### ア. 金銭・物品の預託・払い出しの実施

項目	金額	前年比	備考
前年度繰越金	4,416,920円	+53,742円	
預託金受入	351,079円	+275,859円	
使用済み切手換金	54,686円	-38,866円	
プルタブ換金	47,530円	-24,354円	
未使用・書き損じハガキ換金	0円	±0円	
入れ歯リサイクル換金	0円	-13,086円	
預託合計	4,870,215円	+253,295円	

預託金払出	290,000円	+220,000円 (+5件)	預託者の指定 (7件)
	210,000円	+80,000円 (+8件)	火災見舞金 (21件)
払出合計	500,000円	+300,000円	
次年度繰越金	4,370,215円		-46,705円

##### ○ 預託・収集物品

- ・ 預託品 54件（車いす、衣類、タオル等） (前年比 +11件)
- ・ 収集物品 855件（使用済み切手・テレホカド、プルタブ等）  
(前年比 -69件)
- ・ 払い出し 29件（車いす、衣類、タオル等） (前年比 -18件)

#### ⑥ 敬老会開催の支援

宇都宮市、市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会の共催により開催した敬老会の開催費用の一部を助成した。

- ・ 39地区社協（全地区）へ助成 (助成総額 4,652,670円)

#### 4. 指定管理施設等の管理・経営

##### (1) 指定管理施設の管理・経営

###### ①老人福祉センターの管理・経営（5施設）

ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘・上河内

(指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)

(総運営費 205,188,685円)

##### ア. ことぶき会館

###### ○利用状況

・開館日数 294日 (前年比 ±0日)

・利用者数 延 85,938人 1日平均 292人 (前年比 -925人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		7,136人
教養講座		12講座 292回 10,412人
健康相談等	血圧測定	3,358人
	健康相談	3,317人
	応急処置	8人
	健康器具利用	32,388人

###### ○年間行事等

- ・ことぶき文化祭の開催 平成27年10月17日(土)～18日(日)
- ・ことぶき健康みんなの大学(健康講話・健康チェック・つぼ体操教室・栄養講座・調理講座)の開催 73回
- ・ボランティア団体等の受入(民謡発表会等)
- ・栃木SC健康教室の開催 1回

イ. ふれあい荘

○利用状況

- ・開館日数 295日 (前年比 +6日)
  - ・利用者数 延 47,331人 1日平均160人 (前年比 -2,033人)
- (延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		1,740人
教養講座		13講座 284回 3,877人
健康相談等	血圧測定	3,414人
	健康相談	481人
	応急処置	7人
	健康器具利用	20,132人

○年間行事等

- ・ふれあい文化祭の開催 平成27年10月15日(木)～16日(金)
- ・ふれあい音楽祭の開催 2回
- ・健康講話講座の開催 1回
- ・囲碁将棋自主講座交流大会の開催 1回
- ・ボランティア団体等の受入(映画鑑賞会)
- ・栃木SC健康教室の開催 1回
- ・交通安全啓発運動の開催(管轄警察署協力) 1回

ウ. やすらぎ荘

○利用状況

- ・開館日数 294日 (前年比 ±0日)
  - ・利用者数 延 42,044人 1日平均143人 (前年比 -3,282人)
- (延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		4,357人
教養講座		15講座 353回 7,142人
健康相談等	血圧測定	2,740人
	健康相談	930人
	応急処置	17人
	健康器具利用	18,423人

○年間行事等

- ・やすらぎ祭の開催 平成27年10月25日(日)～26日(月)
- ・健康講話の開催 1回
- ・敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会の開催
- ・地域小学校との交流会の開催
- ・ボランティア団体等の受入(鍼灸体験・民話発表・映画鑑賞会等)
- ・栃木SC健康教室の開催 1回

エ. すこやか荘

○利用状況

- ・開館日数 295日 (前年比 +1日)
  - ・利用者数 延 63,964人 一日平均216人 (前年比 +1,791人)
- (延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,543人
教養講座		13講座 300回 8,757人
健康相談等	血圧測定	1,206人
	健康相談	738人
	応急処置	45人
	健康器具利用	33,395人

○年間行事等

- ・すこやか荘文化祭の開催 平成27年11月13日(金)～14日(土)
- ・交通安全啓発運動の開催(管轄警察署協力)
- ・地域児童との世代間交流事業の開催
- ・ボランティア団体等の受入(軽音楽演奏会)
- ・栃木SC健康教室の開催 1回

オ. 上河内老人福祉センター

○利用状況

- ・開館日数 245日 (前年比 -1日)
  - ・利用者数 延6,092人 1日平均24人 (前年比 +484人)
- (延人数)

区 分		内 訳
教養講座		6講座 115回 948人
健康相談等	血圧測定	382人
	健康相談	382人
	応急処置	0人
	健康器具利用	284人

○年間行事等

- ・上河内老人福祉センター祭の開催 平成27年10月17日(土)
- ・健康体操の開催 28回
- ・スポーツ吹矢講座の開催 3回
- ・布ぞうり作り教室の開催 2回
- ・栃木SC健康教室の開催 1回
- ・地域で実施する「ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会事業」への支援 6回

②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)

雀の宮作業所・若草作業所 (指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)  
(総運営費 43,515,897円)

ア. 雀の宮作業所

○利用状況

- ・開所日数 243日 (前年比 -1日)
- ・利用登録者数 18人 (前年比 +1人)
- ・利用者数 延 3,036人 (前年比 +404人)

イ. 若草作業所

○利用状況

- ・開所日数 243日 (前年比 -1日)
- ・利用登録者数 15人 (前年比 +1人)
- ・利用者数 延 2,894人 (前年比 +290人)



○生産活動の機会の提供

- ・電機部品の組立・菓子箱の組立・文書の封筒詰め及びシール貼り・各種製品箱詰め及び袋詰め・ダンボール製品組立て・DM封入作業等

○社会参加・自立促進

- ・野外レクリエーション・社会適応訓練・社会見学・クリスマス会等の開催
- ・宇都宮市民福祉の祭典・うつのみやふれあい文化祭・栃木県障がい者スポーツ大会等への参加

ウ. 障がい者福祉センター（指定管理期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

（総運営費 37,055,000 円）

【講座事業】

○利用状況

- ・利用登録者数 延 113人 (前年比 -4人)

(延人数)

区 分	内 訳
講座事業	15講座 370回 2,945人

○年間行事等

- ・地域活動支援センターとの交流会の開催 2回
- ・宇都宮ふれあい文化祭・宇都宮市民福祉の祭典・カルフルとちぎへの参加
- ・作品展の開催（市民プラザ・松ヶ峰ギャラリー・宇都宮市民福祉の祭典・市役所市民ホール）
- ・出前講座（パンフラワー短期講座）の開催 2回

【地域活動支援センター事業】

○利用状況

- ・利用登録者数 10人 (前年比 -1人)

○年間行事等

- ・野外療育訓練の開催 1回
- ・講座事業との交流会の開催 2回
- ・宇都宮市民福祉の祭典への参加
- ・音楽療法・買い物訓練・レクリエーション等の実施
- ・外食訓練・料理実習の実施

【医療生活相談】

○相談状況

- ・開催回数 4回 (前年比 ±0回)
- ・利用者数 6人 (前年比 +2人)

③総合福祉センターの管理・経営（2施設）

宇都宮市総合福祉センター（指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日）

河内総合福祉センター（指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日）

ア. 宇都宮市総合福祉センター

(総運営費 75,217,000円)

○利用状況

- ・開館日数 326日 (前年比 -5日)

(延人数)

区 分	内 訳	
会議室等利用者	69,080人	(前年比 -2,718人)
	4,454団体	(前年比 -11団体)
電子健康機器利用者	6,863人	(前年比 +359人)

イ. 河内総合福祉センター

(総運営費 57,031,000円)

○利用状況

- ・開館日数 296日 (前年比 +3日)

(延人数)

区 分	内 訳	
会議室等利用者	13,888人	(前年比 +2,113人)
	565団体	(前年比 +60団体)
大広間等利用者	26,918人	(前年比 +627人)
浴室利用者	60歳以上	17,284人
	60歳未満	229人
	障がい者	1,109人
	子ども	38人
電子健康機器利用者	8,974人	(前年比 +118人)
送迎バス利用者	1,874人	(前年比 +43人)

※1 会議室等利用状況は、団体室・ボランティア室・朗読室含む

## (2) 市からの受託事業等の実施

### ①障がい者生活支援センター事業の実施

宇都宮市障がい者生活支援センター（平成 14 年 10 月 1 日受託）

（総事業費 14,701,651 円）

- ・相談支援を利用している障がい者（児）の数 延 2, 0 8 4 人（前年比+1,214 人）
- ・相談件数 延 2, 2 0 8 件（前年比 +387 件）
- ・個別支援会議 1 9 回開催（前年比 +8 回）

### ②地域包括支援センター事業の実施

ア. 地域包括支援センター御本丸（平成 18 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 30,833,598 円）

○担当地区 中央地区・築瀬地区・城東地区

#### ○総合相談支援事業

- ・相談者数 延 4 2 0 人（前年比 -10 人）

#### ○地域会議の開催

- ・中央地区 2 回
- ・築瀬地区 2 回
- ・城東地区 2 回

#### ○げんき応援高齢者支援業務

- ・介護保険認定申請非該当者へのケアマネジメント 延 1 6 件（前年比-16 人）

#### ○介護予防支援事業

- ・介護予防サービス、支援プラン作成 延 1, 8 3 6 件（前年比+248 人）  
（うち、居宅介護支援事業所委託 1, 1 3 6 件）

#### ○介護予防教室の開催

- ・中央地区 1 2 回
- ・築瀬地区 1 2 回
- ・城東地区 1 2 回

#### ○家族介護教室の開催

- ・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延 3 回

#### ○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

地 区	見守り活動会議	安否確認状況
中央地区	1 回	5 5 回
築瀬地区	0 回	2 4 回
城東地区	1 4 回	0 回

○地域介護予防活動支援事業

- ・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 1団体 延 2回

イ. 上河内地域包括支援センター(平成19年4月1日受託)

(総事業費 25,045,689円)

○担当地区 上河内地区

○総合相談支援事業

- ・相談者数 延 287人 (前年比 +35人)

○地域会議の開催

- ・上河内地区 2回

○げんき応援高齢者支援業務

- ・介護保険認定申請非該当者へのケアマネジメント 延 36件 (前年比-33人)

○介護予防支援事業

- ・介護予防サービス、支援プラン作成 延 558件 (前年比-53人)  
(うち、居宅介護支援事業所委託 236件)

○介護予防教室の開催

- ・上河内地区 36回

○家族介護教室の開催

- ・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延 2回

○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

- ・見守り活動会議 延 6回

○地域介護予防活動支援事業

- ・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 1団体 延 2回

③日中一時支援事業の実施

(総事業費 21,667,400円)

- ・あっとほ一む・うだい (放課後支援型) 平成19年7月12日受託)
- ・あっとほ一む・すずめ (放課後支援型) 平成16年4月1日受託)
- ・あっとほ一む・かわち (放課後支援型) 平成22年4月1日受託)
- ・河内地域活動支援事業所 (日中支援型) 平成19年5月24日受託)

○施設別内容

施設名	区 分	開所日数	定 員 (1日あたり)	利用者延人数
あっとほーむ・うだい	放課後支援型	232日	10人	2,420人
あっとほーむ・すずめ	放課後支援型	242日	7人	807人
あっとほーむ・かわち	放課後支援型	242日	10人	1,317人
河内地域活動支援事業所	日中支援型	242日	5人	724人
合 計				5,268人

(前年比 -368人)

④障がい者福祉バス事業の実施（昭和54年5月1日受託）

障がい者の社会参加を促進するため、福祉バスの運行を行った。

(総事業費 9,313,209円)

○利用状況

・稼働日数	193日	(前年比 +23日)
・利用団体数	延 193団体	(前年比 +23団体)
・利用人数	延 4,365人	(前年比 +478人)

⑤各種奉仕員養成講座の実施

(総事業費 1,190,700円)

種 別		内 容	開催日	開催回数	受講人数 (延)	前年比
手話奉仕員 養成講座	入 門	手話の基礎知識と実技	平成27年5月～ 9月の毎水曜日	全18回	165人	-11人
	基 礎	手話の応用知識と実技	平成27年9月～ 平成28年3月の 毎水曜日	全23回	152人	-11人
点訳奉仕員 養成講座	入 門	点訳の基礎知識と実技	平成27年5月～ 9月の毎火曜日	全20回	123人	-51人
	中 級	点訳の応用知識と実技	平成27年10月～ 平成28年3月の 毎火曜日	全20回	112人	-45人
音訳奉仕員 養成講座	初 級	音訳の基礎知識と実技	平成27年5月～ 8月の毎水曜日	全15回	263人	-35人
	中 級	音訳の応用知識と実技	平成27年9月～ 平成28年2月の 毎水曜日	全20回	355人	+29人

⑥要約筆記者派遣事業の実施（平成 18 年 10 月 1 日受託）

（総事業費 648,996 円）

聴覚障がい者等を対象に、日常生活を営むうえでコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣することにより社会参加を円滑にし、障がい者福祉の増進を図った。

- ・派遣依頼数 69件 (前年比 -8件)
- ・活動筆記者数 88人 (前年比 -16人)

⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施（平成 26 年 6 月 25 日受託）

（総事業費 8,432,388 円）

高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを支える「宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業」の管理運営機関として、円滑かつ適正に事業を展開した。

- ・認定団体数 409団体 (前年比 +227件)
- ・対象者数 延 8,766人 (前年比 +3,626人)

⑧生活困窮者自立相談支援事業の実施（平成 26 年 6 月 25 日モデル事業託）

（平成 27 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 15,300,000 円）

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対し、自立に向けた相談支援を行った。

- ・新規相談件数（新規受付実人数） 811件 (前年比 +670件)
- ・自立に向けたプラン作成件数 133件 (前年比 +130件)
- ・支援回数 延 2,433件 (前年比 +1,639件)
- ・一般就労開始件数 38件 (前年比 +38件)
- ・就労収入増加件数 5件 (前年比 +5件)
- ・事業運営委員会の開催 2回 (前年比 ±0回)
- ・事業運営委員会作業部会の開催 1回 (前年比 +1回)

⑨援護事業の実施

所持金紛失等により、目的地まで行くことのできない行旅人に対して、旅費（500円限度）を貸付した。

- ・行旅人 117人 58,500円 (前年比 -25人)

### (3) 県社協からの受託事業等の実施

#### ①権利擁護センター「あすてらす」事業の実施 (平成11年10月1日受託)

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が十分でない方々に対し、安心して地域等で暮らせるよう相談に応じるとともに、福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービスを提供した。

(総事業費 9,517,500円)

- ・担当地区 宇都宮市・上三川町
- ・契約者数 111人 (新規契約者：15名) (前年比 -13人)
- ・一般相談 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
- ・相談件数 延 3,478件
- ・相談者内訳

区 分	相 談 件 数	前年比
認知症高齢者	1,799件	+326件
知的障がい者	542件	+213件
精神障がい者	990件	+369件
身体障がい者	145件	+19件
その他	2件	-3件
合 計 (延)	3,478件	+924件

#### ②生活福祉資金等貸付事業の実施 (総事業費 8,331,849円)

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲の向上及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援した。

資 金 種 別		申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	8件
	福祉資金(福祉費)	6件
	福祉資金(緊急小口資金)	13件
	教育支援資金	20件
	不動産担保型生活資金	0件
臨時特例つなぎ資金		1件
合 計		48件

(前年比 -13件)

- ・相談件数 延 1,301件 (前年比-393件)

#### ③コミュニティワーク推進モデル事業の実施(栃木県社協受託事業：平成26～27年度)

アドバイザーの指導・助言を受けながら、コミュニティワークの支援体制の強化を図るとともに、各地区の実情に即した支援を実施した。また、モデル地区を選定し、住民(地区社協や福祉協力員、民生委員等)とともに地区福祉マップを作成した。

- ・モデル地区：平石地区・河内地区
- ・アドバイザー 林 和美氏(国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科 准教授)